

令和4年度 専門分野

科目名	母性看護学	単位(時間)	5(165)	27期生	DP
担当講師名	専任教員 他			1～3年次	1・2・3・4
科目設定理由	<p>母性看護は、女性のリプロダクティブヘルスの水準を維持・増進し、母子とその家族に対する健康生活への支援方法を学びます。</p> <p>母性のライフサイクルと健康では、人間の性と生殖という視点を通して、母性看護の基盤となる概念を学ぶと共に、リプロダクティブヘルスに関わる社会的要因と健全なライフサイクルを送るための支援を学びます。そして、それらの学びを統合し、母性とその家族の健康生活を支援する看護を考えていきましょう。また、母性看護は、生命の誕生に関わる領域でもあり、誕生だけでなく生殖に関する危機や喪失など母体の安全を考慮しながら母親や家族の様々な意向を尊重し治療の選択や続行の意志決定や倫理的意志決定についても考えを深めていきましょう。</p> <p>母性看護援助論ⅠⅡでは、妊娠・分娩・産褥・新生児期にある母子の正常な経過を維持・促進する看護および異常に移行した際に必要な看護を学びます。次世代を担う子どもの健全・育成に向けた母性とその家族への支援方法を深めていきましょう。</p>				
科目構成	科目名	母性のライフサイクルと健康	母性看護援助論Ⅰ	母性看護援助論Ⅱ	
	単位時間	1単位 15時間	1単位 30時間	1単位 30時間	
	学習範囲	<ol style="list-style-type: none"> 母性看護の意義と役割変遷と現状 女性のライフサイクルと性の発達 ライフステージにおける女性の健康 リプロダクティブヘルスケア女性の健康と権利 	<ol style="list-style-type: none"> 妊娠・分娩・産褥の経過と看護 <ol style="list-style-type: none"> 妊娠経過と看護 分娩経過と看護 産褥経過と看護 	<ol style="list-style-type: none"> 新生児の経過と看護 正常からの逸脱時の看護 産後の生活・育児に関わる看護の実際 <ol style="list-style-type: none"> 児の全身観察技術及び沐浴等のケア技術 妊娠・分娩・産褥期にある女性の身体的変化のアセスメント技法及び看護援助の技術 	
	科目名	母性看護学実習			
単位時間	2単位 90時間				
実習のねらい	<p>母性看護学実習は、周産期にある対象と家族への看護実践を通して、母性がより良い経過を遂げながら、子どもを産み育てるための支援について考えていきます。</p> <p>実習では、妊婦や褥婦、新生児を受け持ち、対象に寄り添いながら、経過の中で起こる心身の変化を捉えていきましょう。また、妊娠の過程や出産を成し遂げ、徐々に母となっていく対象と家族の姿から、育児への思いや親役割への変化、家族関係を捉え安心して健康な育児生活がおくれるように、妊娠期からの切れ目のない看護について考えていきます。一方、新生児期は、子宮外生活に適応できるための適切なケアが必要な時期にあります。誕生した尊い生命を守り、迎え入れる家族と共に、役割移行を捉え、ウェルネスな視点で健やかな成長を育む支援方法を学んでいきましょう。</p> <p>そして、臨床での看護に同行することで、対象の強みを引き出し、より良い経過を促進するための看護を学んでいきましょう。母と子、家族への看護実践や母性看護の継続や子育て支援についても考えられると良いですね。</p> <p>新しい命を迎える家族との関わりや愛着形成の場面を通して、家族形成への支援、生命を慈しむ感性や自己の母性(父性)観を発展的に考えながら実習していきましょう。</p>				
学習を支える情報	<p>母性看護学は、母子関係を学ぶ心理学や精神保健、誕生と育児に関係する生命倫理や小児看護学、看護の基本である基礎看護学などの学習を統合しながら学んでいきましょう。</p> <p>また、母性を取り巻く社会状況は、変動しています。多様化する社会環境、性役割、倫理的課題などについて日々の見聞を広め、学びに取り入れていきましょう。</p>				